

## 佳作

僕の株近所で妻が売り歩く 耕平  
カンパ袋が相場作れと初手に来る 団扇  
閣僚の相場の下落止まらない 流子  
安倍さんも長くはないと見る相場 淳隆  
株券が働きもせず起きもせず 酔泉  
わたくしを売ると幾らになりますか 倫也  
そんな人いたね辺りが相場です 倫也  
黄色い声混ざり相場の風を変え 冬馬  
売る時にこんなはずではないダイヤ 品子  
正札と格好付けて売る老舗 倫也  
風評が立ってドミノになる相場 利江  
一円が相場で揺れる永田町 闘句郎  
相場額包んで義理の熨斗袋 利江

## 秀句

保釈金相場数える被告人 闘句郎  
アンケート年齢だけで括られる キミ代  
美しい国の相場が決まらない 流子

## 特選

リビングで相場を張っている長者 キミ代

軸 もう一度ヤマダ電機で値を尋ね

## 没句評

**格言的な作品が多かった。状況をそのまま詠んだもの、相場という課題が無いと通じないものなどに別れました。**

浅学に怖い相場の乱高下  
人様に聞いた相場はもう終わり  
人が買う株は買わない勘所

## 言い切ってしまう

バブル弾けてぺんぺん草を愛す **ぺんぺん草を愛す?**  
手放した途端値がつく意地悪さ  
相場師と妻パソコンに認められ **パソコンに認められた?**

戦争の相場を決める核の数

錯覚の金のなる木を追う相場

**そうですかね？ 説明過多**

久々に相場が知れぬ披露宴

フリーター世間の相場プー太郎 **プー太郎とは今言わない**

先回り底値でキミを待っている **底値が** の方が 作者の思いが強く出すぎたか

適齢期ないと思うが話絶え **下五が説明**

平凡な主婦で小さく儲けてる **そのまま**

相場師の度肝を冷やすニューヨーク **度肝を冷やす程度では面白くない、度肝は抜くほどでない。**

相場師が歩くと揺れる兜町 **古い**

**課題が無いと通じない句**

儲かって損して何も残らない

当てにした遺産がっくり紙のくず

近寄らず金運無しと悟ってる

旧友の便りへ無事と書いている **課題からの距離。面白いが**

丁度良いとこで相槌打って住み

涼風を共に待ってる洪団扇

覚えてる言って言われて忘れてる

頭だけ汗水かいてメタボです。

**課題から連想された事柄を土台に句が立ち上がっている。**

のりしるで右往左往の小金持ち **糊代が比喻している部分が難解**

**そうですかで終わってしまう**

為替相場ウォンで嬉しい札の束 **時事だがそのまま**

涙だけ溜まった欲の皮袋 **課題からの距離 もったいない句**

宿六のうだつ上がらずダウ下がる

**「宿六のうだつ上がらず」でなにかが連想できるのもったいない。別の着想の時に使ってみて欲しい。**

有機米土を信じて相場張る **有機米土を信じては面白いが・・・**

ため息は年金介護持った株 **秀句だが、課題から離れすぎ**

相場氏の鼻ゴシップを逃さない **既視感があり**

株買った日からの妻の生返事 **「日からの妻の」がくだい。またそうすぐには生返事にはならないのでは。**